



# こどもクリニックニュース

NO. 150 平成24年7月1日発行  
ともながこどもクリニック

## 休診の予定

8月19日(日)～8月26日(日)  
ご迷惑をおかけします。

なお、水曜日は一日休診です。

## お盆期間の診療

お盆期間は通常どおり診療いたします。

※ 水曜日は休診日ですが、8月15日(水)は午前・午後ともに同様に診療いたします。受付時間は通常の平日と同じです。

## 休日の診療予定(10月まで)

当院は下記の予定で診療いたします。これは加須市の「小児科休日診療」の一環でもあります。

- 7月16日(月) 海の日
- 9月17日(月) 敬老の日
- 9月22日(土) 秋分の日
- 10月8日(月) 体育の日

診療受付時間は午前8:30～12:00までです。それ以外の日曜・祝日ならびに水曜日は、休診です。

## 院長の予定(2012年8月まで)

7月	23日	(月)	3才健診	保健センター
8月	3日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	27日	(月)	3才健診	保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

## 感染症の情報

溶連菌感染症は、ずっと多い状況が続いています。特定の学校に集中しているわけでも無く、この地域全体に蔓延しているもようです。

胃腸炎や水痘の患者さんはずいぶん少なくなってきました。手足口病やヘルパンギーナも、一時患者さんが集中しましたが、月末には少なくなってきました。ただしこの二つの病気は、今後ふたたび流行する可能性が高いので要注意です。



## 風疹の流行

各種の報道でお聞きになった方もいらっしゃると思いますが、国内の一部の地域で風疹が流行しており、全国への拡大が心配されています。

風疹という病気は発熱と発疹、リンパ節が腫れるといった症状が出て、数日から1週間以内に消失するという、比較的軽い病気です。ただ妊娠初期の女性がかかった時、おなかの赤ちゃんに先天奇形などの異常が起こることがあり、これが大きな問題です。

風疹の予防はワクチンしかありません。今後妊娠・出産を予定されている方で、過去4～5年以内に風疹ワクチンを接種していない方は、ぜひワクチン接種をご検討ください。当院は、成人の方の予防接種も実施しております。

なお風しんワクチン接種の際には、金額が多少高くなりますが「麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)」接種を強くお勧めいたします。



## 「赤ちゃんのワクチン」相談会

7月は休みます。

次回開催は

日時 : 8月12日(日曜) 9:00～  
場所 : 当院待合室  
申込 : 受付窓口(電話でも可)

内容 : ワクチンに関する基礎的な知識の解説  
接種スケジュールを決めるポイント  
いろいろなご質問へのお答え、など。

よくある質問や、標準的なスケジュール(またはお勧めパターン)の案内は、これまで通り当院スタッフも対応いたしますので、遠慮なくお尋ねください。

ワクチンデビューは「生後2ヶ月の誕生日」から!

## 不活化ポリオワクチン・最新情報

### 確定していること。

生ワクチンの使用は8月31日まで。

9月1日からは全国一斉に不活化ワクチンに切り替わります。(不活化ワクチンは注射です。)

ポリオ生ワクチン(経口)は、6週間以上の間隔をあけて2回接種したら(飲んだら)完了です。

8月末までに生ワクチン(経口)の接種を1回だけ受けたお子様は、9月以降には不活化ワクチン(注射)を3回追加接種する必要があります。

※注射を3回するよりも、生ワクチンを1回飲む方が楽だという考え方もあります。加須市在住のお子様で、9月か10月に2回目のポリオワクチンの対象となっている場合、接種時期を早めて8月中に生ワクチンを飲めば、ポリオワクチン接種は完了します。ご希望の方は保健センターに相談されてみてはいかがでしょうか。

8月末までにポリオワクチン接種を1回も受けなかったお子様は、9月以降に不活化ワクチンを合計4回接種することになります。その場合、3~8週間の間隔で3回、その後およそ1年後に追加接種をうけるのが標準となります。接種開始年齢は生後3ヶ月からで、すでに皆様が生後3ヶ月から接種している「三種混合ワクチン」と全く同じスケジュールです。

### 確定していないこと(加須市の場合)。

保健センターで集団接種で実施するのか、他のワクチンのように医療機関での個別接種なのか、まだ連絡が来ていないのです。対象となる方には近いうちに保健センターから連絡があるはずですので、注意してお待ち下さい。



### 将来のポリオワクチン/三種混合ワクチンについて

三種混合ワクチンについては、皆様よくご存知だと思います。今年の11月以降は、この三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを混合した「四種混合ワクチン」が発売される予定となっています。今まで通りに三種混合ワクチンを受ける時に、自動的にポリオワクチンも接種することになります。赤ちゃんもご両親も、そして我々医療機関も、とても楽になります。

三種混合(四種混合)ワクチンは生後3ヶ月から開始ですので、対象となるのは8月以降に生まれる赤ちゃんたちということになります。

この先1年間くらいは、従来の三種混合ワクチンや、ポリオ単独ワクチンも併存することになりますので、ワクチンの取り違えや接種日時の間違いなど、事故の無いように注意しなければなりません。

## 水痘ワクチンとおたふくワクチン

どちらも、2回接種がおすすめです。

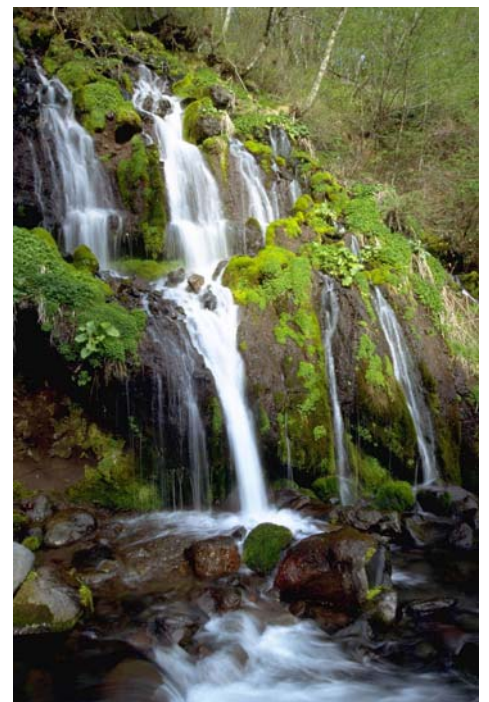
この2種類のワクチンは、1回だけの接種では予防効果がそれ程強くないため、2回の接種が勧められています。多くのワクチン先進国では、1才頃と6才頃の2回接種が一般的のようです。麻しん風しん(MR)混合ワクチンと同じスケジュールです。

ところが今の日本は、水痘やおたふくかぜという病気にかかるお子様がとても多い(常に流行している)ため、前述のタイミングでは、保育園や幼稚園でかかってしまうことが多いのが実情です。(もちろん1回でも接種しておけば、症状は軽いことが多いです。)

そこで日本小児科学会は最近、以下のようなタイミングでの接種を推奨しています。それは、

**「1才頃に1回。その1年後くらいに2回目の接種」**  
というものです。ぜひご検討ください。

任意接種(有料)であるために、全国の接種率は40%くらいだと言われています。このままでは今後も流行が続きます。一刻も早く、公費接種となることを切望します。



子どもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています!

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ



ともなが子どもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL0480-66-4150